



TITLE:

京都大学附属図書館 要覧

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学附属図書館 要覧. 1964

ISSUE DATE:

1964

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/154784>

RIGHT:

京都大学附属図書館

中 名

要

覧

1964

附
属
図
書
館

閲覧貸付掛

目 次

沿 革 略	1
附属図書館平面図	3
歴代館長氏名	6
歴代司書官・事務部長氏名	6
京都大学蔵書統計	7
附属図書館規程	8
附属図書館規程施行細則	10
京都大学附属図書館商議会規程	15
附属図書館長候補者銓衡内規	16
附属図書館長銓衡手続内規	16
附属図書館マイクロフィルム複写取扱内規	17
附属図書館地磁気世界資料室運営委員会内規	19
附属図書館博士論文取扱内規	20
京都大学アメリカ研究センター図書室内規	20
附属図書館事務機構図	21
部局図書室名	21
附属図書館事務分掌規程	22
図 書 目 録	25
特 殊 文 庫	26
附属図書館所蔵重要文化財指定図書目録	28
附属図書館図書分類表	31
和漢書目録用音字表	40
訓令式ローマ字綴表	44

沿 革 略

附属図書館は本学の図書に対する受入、管理および運用に關することを中心とし、図書につ

いての全学的な事務をつかさどるところであって、明治30年6月、本学の創立とともに購入図書並びに帝国図書館等よりの移管図書の整理に着手、事務室を理工科大学教室の一部に置き、明治32年12月11日から閲覧事務を開始した。

明治31年7月、2階建延70坪の書庫（第1書庫）を建設、ついで閲覧室及び事務室を新築し、32年7月事務室をこの建物に移した。現在、学生部の位置するところが、当時の閲覧室であった。36年4月、3階建延289坪の新書庫（第2書庫）を40年5月、事務室の増築を行い、こえて大正7年3月、煉瓦建平家（現在の保健診療所）を別個に建築し、さらに14年7月、鉄筋4階建延143坪の書庫（第3書庫）を増築して、貴重図書をここに収めた。

閲覧者の漸次増加するに伴い、昭和8年、法学部経済学部新館2階に第2閲覧室を開設した。11年1月、第1閲覧室の1部より出火し、当初の木造閲覧室を焼失した。この頃、現在の建物である新館の設計が始められていた。すなわち、地上3階・地下1階・書庫7層の総面積延2200坪、閲覧室は2階及び3階に、それぞれ2室を設け、これに全学生数の1割を同時に收容し、また各室の施設・設備についても、近代図書館の機能を十分に果し得るよう考慮し設計されたものであったが、たまたま勃発した日華事変のためついに着工延期となり、昭和14年5月にいたりようやく工を起した。しかし、いよいよ激化する事変と、さらに大太平洋戦争への拡大によって当初の設計も地上2階のまま

放置されて終戦に至った。

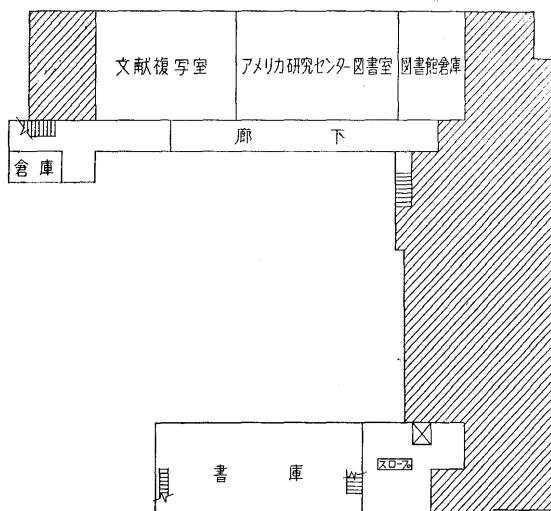
戦後における最悪の諸条件のもとで、とりあえず閲覧室及び事務室などの緊急を要するものの補修に着手、昭和 23 年 3 月、閲覧室及び事務室を新館に移した。こえて 29 年、新書庫が完成し、図書館機能の飛躍的な発展を見るに至った。

昭和 32 年 12 月には、国際地球観測年の事業のひとつとして地磁気世界資料室が本館 1 階に開設された。これは全世界に 4 カ所置かれた地磁気世界資料室のひとつである。さらに 34 年 4 月から本館地階にアメリカ研究センター図書室が置かれた。本学のアメリカ研究の中心として約 7000 冊の洋書が完全開架式で利用に供されている。

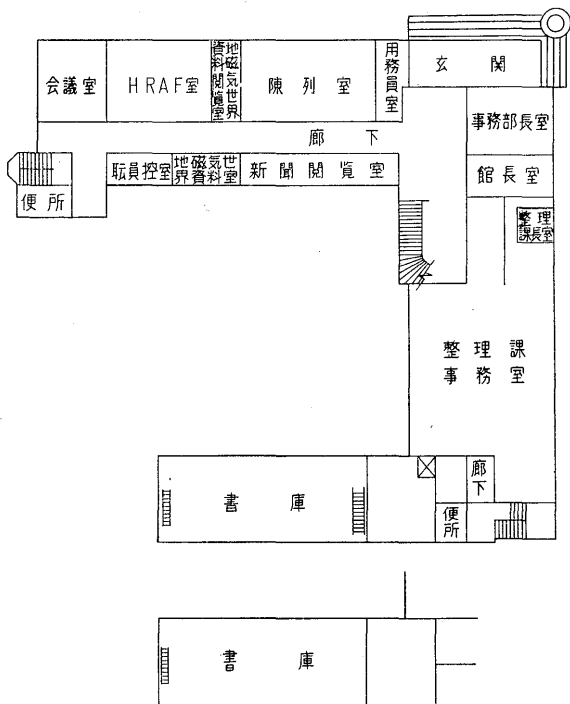
さらに本館の特殊資料室のひとつとして、39 年 4 月には、HRAF 室が本館 1 階に設けられた。これはイエール大学に本拠をおく人間関係に関する地域別資料のファイル (Human Relations Area Files) であって、本館には 22 番目のファイルが置かれたのである。

本館を利用するものの数は、1 日平均 1500 人程度であって、今日学生については全学生の約 1.5 割が日々これを利用している。図書館の機能の中心は目録の整備であるので、本館は創学以来の全学にわたる図書目録を整備するほか、学内各部局保管図書の利用、他大学その他諸機関所蔵図書の借用、他の図書館の利用などについても斡旋にあたり、また、図書の国際交換事務及び図書に関する情報の提供、文献複写業務などとともに、稀覯に属する図書・資料の展覧並びに図書を中心とした学術講演会などを随時開催している。

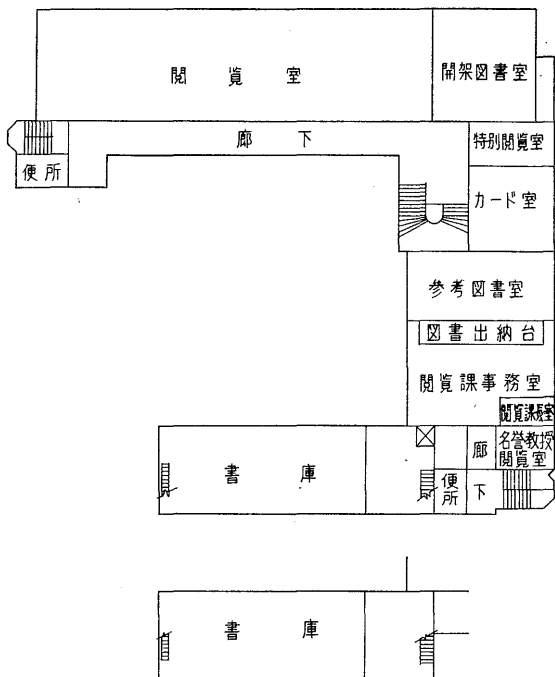
附属図書館平面図



地階平面図



一階平面図



二階平面図

歴代館長

(叙任)

明治32. 11. 6	明治43. 7. 25		島 文次郎
〳 43. 7. 25	〳 44. 10. 1		石 川 一
〳 44. 10. 1	昭和11. 10. 19	文学博士	新 村 出
昭和11. 10. 19	〳 13. 11. 25	文学博士	羽 田 亨
〳 14. 1. 17	〳 17. 7. 28	経済学博士	本庄栄治郎
〳 17. 9. 1	〳 22. 5. 31	文学博士	沢 潟 久 孝
〳 22. 5. 31	〳 24. 11. 8	文学博士	原 随 園
〳 24. 11. 8	〳 32. 7. 15	文学博士	泉井久之助
〳 32. 7. 15	〳 38. 7. 14	法学博士	田 中 周 友
〳 38. 7. 25		経済学博士	堀 江 保 蔵

歴代司書官 事務(部)長

(叙任)

明治41. 6. 30	明治43. 7. 25		島 文次郎
〳 43. 7. 25	〳 44. 10. 1		石 川 一
大正 4. 1. 6	大正 8. 12. 6		長 寿 吉
〳 9. 1. 23	〳 9. 11. 2		秋 間 玖 麿
〳 9. 11. 13	昭和12. 2. 20		山 鹿 誠 之 助
昭和12. 2. 20	〳 14. 10. 11		吉 田 孫 一
〳 14. 10. 11	〳 17. 8. 22		竹 林 熊 彦
〳 17. 8. 22	〳 18. 4. 1		長 崎 太 郎
〳 18. 5. 8	〳 24. 8. 31		宮 西 光 雄

〃 24. 11. 19	〃 31. 3. 1	小倉親雄
〃 31. 4. 1	〃 36. 3. 31	岩猿敏生
〃 36. 4. 1	〃 39. 3. 31	光田作治
〃 39. 4. 1	事務取扱	岩猿敏生

京都大学蔵書統計

部局	年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和38年度
		増加数	増加数	増加数	末蔵書数
		冊	冊	冊	冊
図書館		4,185	8,819	6,683	412,483
法学部		6,162	5,488	7,150	309,827
医学部		614	572	772	72,850
病院		415	348	371	24,695
工学部		5,059	6,166	7,842	141,882
文学部		11,604	11,149	9,766	440,115
理学部		3,659	3,668	4,407	125,500
経済学部		5,627	6,562	5,391	219,159
農学部		4,249	4,548	4,725	172,380
教育学部		2,723	2,178	1,927	23,786
薬学部		263	365	487	4,074
養老部		5,970	7,978	7,384	153,574
化学研究所		786	845	904	11,845
人文科学研究所		3,667	5,803	3,406	118,255
結核研究所		52	109	24	1,578
工学研究所		229	212	217	3,699
木材研究所		151	243	346	2,941
食糧科学研究所		274	187	185	2,437
防災研究所		420	372	817	3,067
基礎物理研究所		529	997	1,029	7,416
ウイルス研究所		91	48	54	392
経理部		15	27	57	3,358
施設部		1	1		777
演習林		32	173	191	3,917
農場					1,039
工業教員養成所		722	1,413	2,013	4,148
経済研究所			307	818	1,125
原子炉実験所			194	378	572
数理解析研究所				1,840	1,840
計		57,299	68,772	69,184	2,268,731

京都大学附属図書館 規 程

第1条 京都大学附属図書館（以下本館という。）は、京都大学に所属する図書の管理と運用をつかさどる。

第2条 本館に保管する図書は、次の2種類とする。

- 1 貴重図書
- 2 普通図書

第3条 本館職員以外の者は、図書の出納に当ることができない。

第4条 公用として本館に保管する図書を借受することのできる者は、次に掲げる者とし、その借受冊数は、制限しない。

- 1 部局長
 - 2 学部の教室主任
 - 3 庶務部長、経理部長、施設部長および保健診療所長
- 2 参考用として本館の図書を借受することのできる者は、次に掲げる者とする。

- 1 職員
- 2 学生
- 3 その他特に館長の許可を得た者

第5条 名誉教授、職員、学生および特に館長の許可を得た者は、本館閲覧室に入り閲覧することができる。

第6条 辞書および指定図書など諸学科に通ずる参考書は、特に館長の許可を得たものに限り、借受することができる。

2 貴重図書は、特に館長の許可を得た者でなければ閲覧

または借受することができない。

第7条 次に掲げる者は、書庫内に入り、図書を検索することができる。

- 1 名誉教授，教授，助教授，講師，助手
- 2 事務局長，事務局および学生部の部長，課長
- 3 図書検索許可書をもつ大学院学生
- 4 その他特に館長の許可を得た者

第8条 貸付の図書は、臨時に返納せしめ、または本館職員が出張の上、点検することがある。

第9条 貸付の図書を紛失、汚損したときは弁償せしめ、更に閲覧貸付を停止することがある。

第10条 次に掲げる事項については、その都度館長の許可を得なければならない。

- 1 諸官庁または公共団体等で図書の借受を希望するとき
- 2 諸官庁の職員または公共団体等の代表者が公用で図書の閲覧を希望するとき
- 3 特殊の研究課題をもつ研究者が、図書の特別閲覧を希望するとき

第11条 本学に寄託のあった図書は、原則として本館に保管する図書と同一の取扱いをする。

第12条 本学の図書の撮影を希望する者は、館長の許可を得なければならない。ただし、部局に保管する図書については、部局長の許可をあわせて得なければならない。

第13条 この規程の施行に関する手続は、総長の認可を得て館長が定める。

附 則

この改正は、昭和36年1月10日から施行し、昭和35年12月16日から適用する。

京都大学附属図書館 規程施行細則

第1 図書の貸付

第1条 本館に保管する図書を借受する者は、所定の借用証書を提出するものとし、公用として借受するときは、所定の願書に公用借受図書目録を添えて館長に願い出なければならない。

第2条 借受した図書は、他に転貸することができない。
ただし、公用として借受した図書は、借受者の責任においてさらに貸し付けることができる。

第3条 公用として普通図書を貸し付ける期間は、1カ年以内とする。

2 参考用として普通図書を貸し付ける期間は、次のとおりとする。

1 職員

教 官	6 カ月以内
教官以外の者	1 カ月以内

2 学 生	1 カ月以内
-------	--------

3 その他特に館長の許可を得た者	特に定める期間
------------------	---------

第4条 第3条に定める期間内に貸付できる図書の冊数は、次のとおりとする。

1 職員

教 官	30冊以内
事務局長，部長，課長，事務長	20冊以内
右以外の事務官，技官	10冊以内
その他の職員	5冊以内

2 学 生

大学院学生

10冊以内

学 生

5冊以内

3 その他特に館長の許可を得た者 特に定める冊数

第5条 貸付図書の冊数は、和漢装本については、3冊をもって1冊と数える。未装ていの逐次刊行物は完冊となったものを1冊とみなす。

第6条 参考用として普通図書を借受するとき、第4条第1号中の「その他の職員」は、所属部課長または事務長（事務主任を含む）の承認印を、学生は所属学部（教養部を含む）の教授の承認印を、所定の借用証書に受けなければならない。

第7条 教官で貴重図書の借受を希望するときは、所定の願書に所属部局長の承認印を受け館長の許可を得なければならない。ただし、借受期間は1週間以内とし、学外に持ち出すことはできない。

第8条 夏季休業中、参考用として普通図書を借受するときは、所定の願書を館長に提出し許可を得なければならない。

2 借受した図書は、夏季休業終了後1週間以内に返納しなければならない。

第9条 本学職員の身分を失ったとき、学生で退学するときまたは除籍処分を受けたときは、直ちに借受中の図書を返納しなければならない。

2 学生が卒業または修了するときは、合格証書または学位記を受ける前に、借受中の一切の図書を返納しなければならない。

3 職員で休職を命ぜられた者、学生で休学の許可を得た

者または停学処分を受けた者は、直ちに借受中の図書を返納し、かつその期間中は図書を借受および閲覧することができない。

第2 図書の閲覧

第10条 図書を閲覧する者は、所定の閲覧証用紙に必要事項を記入し職員証、学生票または特別閲覧票を添えて掛員にさし出さねばならない。

第11条 同時に閲覧できる冊数は、3部5冊以内とする。

第12条 京都大学附属図書館規程（以下「規程」という。）

第5条に定める特に館長の許可を得た者に対しては、特別閲覧票を交付する。

2 特別閲覧票の有効期間は、6カ月以内とする。

3 特別閲覧票を紛失したときは、直ちに届け出なければならない。

第13条 職員および特別閲覧票を所持する者で貴重図書の閲覧を希望するときは、所定の願書を館長に提出し許可を得た上、閲覧手続をとらねばならない。

2 学生で貴重図書の閲覧を希望するときは、所定の願書に所属学部（教養部を含む）の教授の理由書を添えなければならない。

第14条 普通図書は必ず閲覧室において、貴重図書は必ず所定の場所において閲覧しなければならない。

2 閲覧室では音読、談話、喫煙等他人に迷惑を及ぼす行為をしてはならない。

第3 図書の検索

第15条 書庫内の図書の検索を希望する者は、入庫証を受け取り検索後は直ちに返付しなければならない。

第16条 大学院学生で図書の検索を希望するときは、所定

の願書に指導教官の承認印を受け、これを館長に提出して図書検索許可書の交付を申請しなければならない。

2 図書検索許可書の有効期間は、2カ月以内とする。

第17条 図書検索許可書は他人に貸与することができない。期間を経過したときは直ちに返却し、紛失したときは、すみやかに届け出なければならない。

第18条 入庫者は次の行為をしてはならない。

1 外套の着用、かばん・風呂敷包等の携帯または喫煙

2 図書の配列順序を乱す等書庫内の秩序を乱すこと

第19条 検索できる時間は、次のとおりとする。ただし、必要に応じて検索させないことがある。

平 日 午前9時から午後4時まで

土 曜 日 午前9時から正午まで

第4 閉館日および閲覧時間

第20条 次の定日は、図書出納事務を休止し閲覧室を閉鎖する。

日曜日

国民の祝日

創立記念日

4月1日から4月5日まで

8月1日から8月15日まで

12月25日から翌年1月5日まで

2 毎月末日は、図書出納事務を休止する。

3 必要に応じて臨時に閉館することがある。

第21条 閲覧時間は、次のとおりとする。ただし、必要に応じて臨時に変更することがある。

平 日 午前9時から午後8時まで

土 曜 日

1 月 6 日から 1 月 10 日まで	午前 9 時から 午後 5 時まで
7 月 21 日から 7 月 31 日まで	
8 月 16 日から 9 月 10 日まで	

第 5 図 書 の 点 検

第22条 規程第 8 条に定める点検のため図書の返納を求めるときは、1 週間以前にその旨を通知し、本館職員が出張の上点検するとき、前日までにその旨を通知する。

第 6 図 書 の 撮 影

第23条 京都大学に所属する図書の撮影を希望する者は、所定の撮影申込書を提出しなければならない。

第24条 本館に保管する図書の撮影は、原則として本館が行うものとする。

第25条 貴重図書の撮影を希望する者は、所定の願書を館長に提出し許可を得なければならない。

2 学生で貴重図書の撮影を希望するとき、所定の願書に所属学部（教養部を含む）の教授の理由書を添えて館長に提出し許可を得なければならない。

第26条 貴重図書の陰画は、本館が保管し、印画または陽画を交付する。

第27条 本学に所属する図書を撮影したものを研究発表等に掲載するとき、本学所属の旨を必ず明記し、その刊行物を 1 部納入しなければならない。

第 7 そ の 他

第28条 閲覧または借受中の図書は、丁重にあつかい、紛失または汚損してはならない。

第29条 図書を紛失、汚損したときは、その旨を詳記した書類を館長に提出しなければならない。

第30条 規程及びこの施行細則に違反した者には、一定の期間または無期限に図書の貸付および閲覧を停止し、その旨を本館内に掲示する。

附 則

この施行細則は、昭和32年12月17日から施行する。京都帝国大学附属図書館規則執行手続（明治32年11月29日制定）は、廃止する。

京都大学附属図書館 商 議 会 規 程

第1条 京都大学附属図書館の重要事項を審議するため、京都大学附属図書館商議会を置く。

第2条 商議会は、次の各号に掲げる商議員で組織する。

- 1 図書館長
- 2 各学部長
- 3 教養部長
- 4 各学部および教養部の教授 1名

第3条 前条第4号の商議員は、当該学部および教養部の推薦により総長が命じ、その任期は2年とする。ただし、重任を妨げない。

第4条 商議会は、図書館長が招集し、議長となる。

2 議長に事故があるときは、年長の商議員が代理する。

第5条 商議会は、商議員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

第6条 商議会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決する。

第7条 議長が必要と認めたときは、商議員以外の者に出

席をもとめ、意見をきくことができる。

第 8 条 商議会に幹事を置き、図書館事務部長をあてる。

附 則

この規程は、昭和29年1月26日から施行する。

明治41年12月1日制定の附属図書館商議会規程は廃止する。

この改正は、昭和36年7月26日から施行し、昭和36年4月1日から適用する。

京都大学附属図書館長 候補者 銓 衡 内 規

第 1 条 附属図書館長候補者銓衡の必要を生じた場合総長は図書館商議会に諮問する。

第 2 条 図書館商議会前項の諮問を受けたときは、商議会で銓衡を行い、候補者1名を総長に推薦する。

第 3 条 附属図書館長の任期は、3年とする。ただし、任期満了のときは同様の手続を経て再任されることは差支ない。

第 4 条 附属図書館長やむを得ない事故のため任期の途中で更迭する場合後任者の任期は第3条による。

附 則

この内規は、昭和22年5月1日から施行する。

附 則

この改正は、昭和32年7月15日より適用する。

京都大学附属図書館長 銓 衡 手 続 内 規

第 1 条 図書館長候補者は図書館商議会で委員の投票によ

って決定する。

第2条 図書館長候補者となることができる者は国立学校設置法施行規則第9条第3項に示すところによる。

第3条 図書館長候補者の選挙は委員が4分の3以上出席することを要する。

第4条 図書館長候補者は1名としその選挙は単記無記名投票を用い過半数の得票者をもって当選者とする。ただし委員長は投票に加わるものとする。

第5条 投票の結果いずれも過半数に達せないときは最多数の得票者2名について決選投票を行いその多数を得たものを当選者とする。

第6条 同数の得票者が2名以上あるときは更にその同数者についてその順序を定める。

第7条 第5条の決選投票および第4条の投票の結果その得票が同数のときは年長者をもって当選者とする。

第8条 決選投票の場合候補者は加わらないものとする。

第9条 候補者は止むを得ない場合を除く外は推薦を辞することができない。

附 則

この内規は昭和22年5月1日から施行する。

附 則

この内規は昭和24年8月1日から施行する。

京都大学附属図書館 マイクロフィルム 複写取扱内規

第1条 京都大学附属図書館の複写施設の利用に関しては、

この内規の定めるところによる。

第2条 複写は学術研究上の目的を有するものに限り、本学並びに主として近畿地区内の各大学、研究所、試験場等学術機関の依頼に応ずるものとする。

第3条 被写著作物の著作権に関する一切の責任は、依頼者側において負うものとする。

第4条 複写を依頼しようとする者は、所定の申込書に必要事項を記入の上附属図書館長に申し込むものとする。

第5条 複写の申込者は、別に定める複写実費額表による料金を納めなければならない。

第6条 複写料の徴収方法は次の通りとする。

- (1) 本学各部局の申込のうち校費によるものについては、移算によるものとする。
- (2) 前項以外の申込については、第5条による実費額を納入するものとする。

附 則

この内規は昭和31年7月1日から施行する。

京都大学附属図書館文献複写実費額表

マイクロフィルム	ネガフィルム	1コマにつき ただし撮影資料持参の場合	10円 8円
	リーダー・トレーラー	1件につき ただし郵送しない場合は希望者のみにつける	50円
	ポジフィルム	最初の1m 以後1mにつき 1m未満の場合は1mとして計算する	100円 60円
	特殊撮影	複写上特別に手間を要するもの（たとえば和漢の古書）はネガフィルム撮影料金に1コマ2円を加算する	

引 伸	キ	ヤ	ビ	ネ	12円
	A			5	20円
	B			5	30円
	A			4	40円
テキ スト	A 5 1 枚				4円
	ただし 5 部以上，学外は取扱わず				

京都大学附属図書館 地磁気世界資料室 運営委員会内規

第 1 条 京都大学附属図書館地磁気世界資料室にその運営に関する重要事項を審議するため，京都大学附属図書館地磁気世界資料室運営委員会を置く。

第 2 条 運営委員は若干名とし，京都大学教授および助教授の中から図書館長が委嘱する。

2 運営委員の任期は 2 年とする。ただし重任を妨げない。

第 3 条 運営委員会に運営委員長を置く。

2 運営委員長は運営委員の互選による。

3 運営委員長は運営委員会の議長となる。

第 4 条 運営委員会は運営委員長が招集する。

第 5 条 運営委員会に幹事 1 名を置き，附属図書館職員の中から運営委員長が委嘱する。

2 幹事は運営委員会の庶務をつかさどる。

附 則

この内規は昭和 37 年 7 月 25 日より施行する。

京都大学附属図書館 博士論文取扱内規

京都大学附属図書館の保管にかかる博士論文の管理および運用は、貴重図書に準じて取扱う。

附 則

この内規は昭和35年2月2日から施行する。

京都大学アメリカ研究 センター図書室内規

第1条 京都大学アメリカ研究センター図書室を利用しようとする者のうち、学生および特に館長の許可を要する者は、京都大学アメリカ研究センター図書室図書閲覧票の交付を願い出なければならない。

第2条 図書を貸し付ける期間は1カ月以内とする。

第3条 貸付できる図書の冊数は次のとおりとする。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 職 員 | 10冊以内 |
| 2 大学院学生 | 5冊以内 |
| 3 学 生 | 3冊以内 |
| 4 特に館長の許可を得た者 | 特に定める冊数 |

第4条 開室時間は当分の間次のとおりとする。

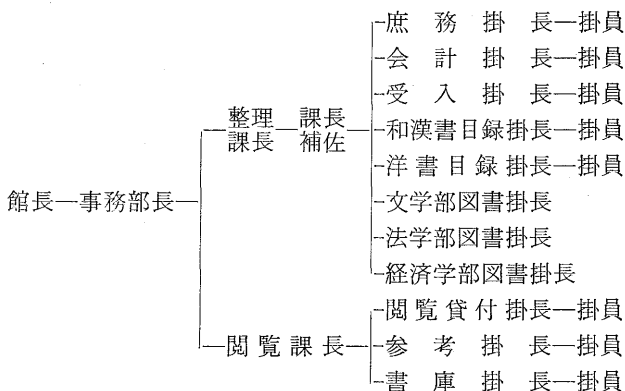
平 日	午前10時から午後4時まで
土曜日	午前10時から正午まで

附 則

この内規は、昭和34年4月1日から施行する。

京都大学附属図書館 事務機構図

(昭和39年5月1日現在)



部局図書室名

法学部図書室
経済学部図書室
医学部図書室
文学部図書室
農学部図書室
教育学部図書室
薬学部図書室
教養部図書室
医学部附属病院

内科図書室
外科図書室
小児科図書室
精神神経科図書室
産婦人科図書室
眼科図書室
薬局図書室
放射線科図書室
栄養治療室図書室
中央検査部図書室

口腔外科図書室
皮膚科泌尿器科図書室

工学部

土木工学教室図書室
機械工学，
精密工学教室図書室
電気・電子工学
教室図書室
資源工学，冶金工学，
金属加工学教室図書室
工業化学教室図書室
建築学教室図書室
燃料化学教室図書室
化学工学教室図書室
高分子化学教室図書室
航空工学教室図書室
原子核工学教室図書室
衛生工学教室図書室
数理工学教室図書室
合成化学教室図書室
電離層研究施設図書室
理 学 部
数学教室図書室

物理学第一学教室図書室
物理学第二学教室図書室
宇宙物理学教室図書室
地球物理学教室図書室
化学教室図書室
動物学教室図書室
植物学教室図書室
地質学鉱物学図書室

人文科学研究所図書室
化学研究所図書室
工学研究所図書室
結核研究所図書室
木材研究所図書室
食糧科学研究所図書室
基礎物理学研究所図書室
数理解析研究所図書室
工業教員養成所図書室

京都大学附属図書館 事務分掌規程

第1条 整理課の事務を分掌させるため、次の5掛を置く。

庶務掛

会計掛

受入掛

和漢書目録掛

洋書目録掛

第2条 庶務掛においては、次の事務をつかさどる。

- 1 公印の管守に関すること。
- 2 職員の服務および福祉に関すること。
- 3 職員の給与に関すること。
- 4 文書類の接受、発送および保存に関すること。
- 5 調査統計その他報告に関すること。
- 6 事務部の所掌事務のうち、他の掛に属しないこと。

第3条 会計掛においては、次の事務をつかさどる。

- 1 予算、決算および経理に関すること。
- 2 物品の管理に関すること。
- 3 営繕に関すること。
- 4 共済組合に関すること。

第4条 受入掛においては、次の事務をつかさどる。

- 1 図書の受入に関すること。
- 2 受入図書の統計、調査および報告に関すること。
- 3 蔵書印および登録印の管守に関すること。
- 4 供用図書の受渡に関すること。

第5条 和漢書目録掛においては、次の事務をつかさどる。

- 1 和漢図書の各種カードの作成および各種カード目録の編成に関すること。
- 2 和漢図書の分類に関すること。
- 3 和漢図書印刷冊子目録編集に関すること。
- 4 購入和漢図書の選択に関すること。
- 5 学位論文の整理に関すること。

第6条 洋書目録掛においては、次の事務をつかさどる。

- 1 欧文図書の各種カードの作成および各種カード目録

の編成に関すること。

2 欧文図書の分類に関すること。

3 欧文図書印刷冊子目録編集に関すること。

4 コングレスカード目録に関すること。

5 購入欧文図書の選択に関すること。

第7条 閲覧課の事務を分掌させるために、次の三掛を置く。

閲覧貸付掛

参 考 掛

書 庫 掛

第8条 閲覧貸付掛においては、次の事務をつかさどる。

1 図書の閲覧および貸付に関すること。

2 閲覧室の管理に関すること。

3 開架図書に関すること。

4 指定図書に関すること。

5 特別閲覧証の発行に関すること。

6 図書館間の相互利用に関すること。

第9条 参考掛においては、次の事務をつかさどる。

1 図書および図書館の利用についての案内指導に関すること。

2 参考用資料に関すること。

3 図書の交換に関すること。

4 文献情報活動に関すること。

5 図書の展示に関すること。

6 文献の複写に関すること。

第10条 書庫掛においては、次の事務をつかさどる。

1 書庫の管理に関すること。

2 図書の保存に関すること。

- 3 製本に関すること。
- 4 貴重図書の出納に関すること。
- 5 標本類の保管に関すること。

附 則

- 1 この規程は、昭和36年9月12日から施行し、昭和36年4月1日から適用する。
- 2 京都大学附属図書館事務分掌規程（昭和27年2月1日制定）は廃止する。

図 書 目 録

本学所蔵図書の検索のためには、次のカード目録と冊子目録とがある。カード目録は事務室用と閲覧室用とがある。

A 事務室用カード目録は次の二種類である。

1. 全学和漢書カード目録——書名の50音順排列
2. 全学洋書カード目録——著者名のABC順排列

なお、別に本館備付の図書については和洋別に函架目録がある。

B 閲覧室用カード目録は次のとおりである。

1. 全学和漢書書名カード目録——本館備付図書以外は昭和12年以降受入の図書に限る。ABC順排列
2. 全学和漢書著者名カード目録——昭和23年以降受入の図書に限る。ABC順排列
3. 本館備付和漢書分類カード目録——分類毎に書名の50音順排列
4. 本館備付和漢書別置本カード目録——分類毎に書名の50音順排列
5. 法学部備付和漢書カード目録——分類毎に書名の50

音順排列

6. 経済学部備付和漢書カード目録——分類毎に書名の
50音順排列

7. 全学洋書カード目録——本館備付図書以外は昭和12
年以降受入の図書に限る。著者名のABC順排列

8. 本館備付洋書分類カード目録——分類毎に著者名の
ABC順排列

9. 本館備付洋書別置本カード目録

C 冊子目録には次のものがある。

- | | | |
|-------------------------|--------|---------|
| 1. 和漢書分類目録 | 第1 総記類 | 昭和10年現在 |
| 2. 和漢書分類目録 | 第2 理 学 | 昭和12年現在 |
| 3. 和漢書分類目録 | 第3 工 学 | 昭和14年現在 |
| 4. 和漢書分類目録 | 第4 医 学 | 昭和16年現在 |
| 5. 富士川本目録（前項医学より抜刷したもの） | | |
| 6. 洋 書 目 録 | | 大正2年現在 |
| 7. 欧文逐次刊行書目録 | | 昭和17年現在 |
| 8. 旭江文庫目録 | | 昭和16年刊 |
| 9. 法学部経済学部備付洋書目録 | | 昭和3年現在 |
| 10. 谷村文庫目録 | | 昭和38年刊 |

特 殊 文 庫

清 家 本 明経道を家学とする清原の嫡流である船橋家旧
蔵書本である経書を主とする集書で、本邦屈指の
経学関係の研究資料であり、その価値を広く学界
に知られている。（貴） 2,654冊

菊亭家本 旧堂上公卿菊亭家（今出川）の旧蔵書歌道・音
楽および故実に関する家伝書。（貴） 2,357冊

近衛家本 旧五撰家の一つである近衛家の旧蔵書で、近衛家本として一時本学に寄託されていたものであるが、財団法人陽明文庫設立にあたりその一部を本学に寄贈された。主として漢籍であるが、和書の中に貴重なものも少くない。(貴) 3,050冊

中院家本 中院道方を祖とする中院家の旧蔵書日記・歌集および種々の古文書を含む。(貴) 1,041冊

平松家本 西洞院時慶を祖とする宮廷外記の家系である平松家の旧蔵書、故実・典例に関する図書その他。(貴) 1,886冊

皆川本 江戸時代中期の儒者皆川淇園の自筆稿本および書入本。(貴) 410冊

日蔵既刊・未刊本 明治35年より同8年に亘って刊行された大日本校訂大蔵經の底本並びにその底本として集められ刊行を見るに至らなかったもの。

3,269冊

蔵經書院本 大日本校訂大蔵經の刊行にたずさわった蔵經書院の旧蔵書で同刊行の底本となったもの。

5,187冊

谷村文庫 故谷村一太郎の旧蔵書古写經・古版本および連歌関係の資料。(貴) 1,075冊

富士川文庫 故医学博士・文学博士富士川游の旧蔵書、我国医学史関係資料の集大成されたものである。

(貴) 9,017冊

河合文庫 河合弘民の蒐集による古版本および古写本。

(貴) 2,160冊

維新特別資料文庫 元子爵品川弥二郎の尊攘堂に蒐集されていた資料で、吉田松陰その他維新の志士の筆

- 蹟・遺品・稿本などを含む。(一部貴) 2,442冊
- 陶庵文庫 元公爵西園寺公望の旧蔵書、主として同人蒐集の漢籍洋書よりなる。 8,046冊
- 島田文庫 明治時代の仏教学者島田蕃根の蒐集した修験道を主とした仏教資料および同家伝来の図書。 234冊
- 新聞文庫 元朝日新聞記者中神利人の旧蔵にかかる幕末以降の新聞関係資料。 861冊
- 旭江文庫 大賀寿吉(旭江)の蒐集にかかる詩聖ダンテに関する世界的コレクションである。(一部貴) 2,617冊
- ロールズ・シリーズ Rolls Series 英国中世の記録を整理蒐集したもので、ヨーロッパ中世の法律・経済・歴史・人文等の研究の根本資料となるもの。 742冊
- イスパニア文庫 スペイン国最高学術会議の配慮により、フランシス・ザビエルに関係の深い京都に於ける本学が所蔵するにいたったもの。 1,304冊
- (貴)印あるものは貴重書扱

附 属 図 書 館 所 蔵 重要文化財指定図書目録

本館所属図書の中重要文化財に指定せられているものは下記のとおりである。

1. 紙本墨書古今集注 藤原教長撰 2帖 仁治2年書写
ノ奥書アリ 平安時代
1. 紙本墨書万葉集卷16(尼崎本) 1帖 平安時代
1. 紙本墨書周礼疏(単疏本) 15冊 題簽周礼正義

1. 紙本墨書中庸朱熹章句 1冊 弘和2年榮山寺
行宮ニ於テ隱士禪惠書写ノ奥書アリ 南北朝時代
1. 紙本墨書孝經述議卷第1, 卷第4 2冊
卷第1ノ見返ニ明応6年ノ記アリ
1. 清原家家学書31種 鎌倉・南北朝・室町時代
(内訳)
 - 御注孝經残卷 1卷
紙背建保5年承久3年文書等
 - 古文孝經 1卷
延文元年10月23日教氏伝授奥書
 - 易学啓蒙抄上下 宣賢筆 2冊
 - 易学啓蒙通釈上下 上巻 宣賢筆 2冊
 - 易学啓蒙通釈口義上ノ2 宣賢筆 1冊
 - 命期秘伝 宣賢筆 1冊
 - 尚書聴塵 宣賢筆 5冊
 - 毛詩 (清家証本) (宣賢本ノ写本)
第1冊慶長2年
 - 書写奥書 9冊
 - 左伝聴塵 宣賢筆 12冊
卷第29, 第30抄出加點奥書
 - 大学 宣賢筆 2冊
永正11年10月書写並ニ大永天文年
 - 論語 良枝筆 2冊
天文19年4月枝賢奥書
 - 論語 (清家証本) 枝賢筆 2冊
第1冊 天正4年6月枝賢奥書
第2冊 天文8年2月業賢奥書
 - 論語義疏 卷第2, 第4, 第5, 第6, 第7, 第8 6冊
卷第8 奥良兼朱花押

孝經抄	業賢筆	1冊
	大永8年8月書写奥書	
史記抄	宣賢 業賢等筆	20冊
漢書抄	宣賢 業賢等筆	6冊
標題補注蒙求	業賢筆	3冊
	各冊享祿天文年間宣賢講義奥書	
六韜	業賢筆 宣賢注	1冊
六韜秘抄	宣賢筆	2冊
司馬法	宣賢筆	1冊
三略秘抄	宣賢筆	1冊
	天文3年抄同5年講義奥書	
三略抄	第1冊 國賢筆 第2冊以下 助筆	6冊
	天正4年13年奥書	
三略講義	自卷31至卷32 宣賢等筆	1冊
孝子伝	枝賢筆	1冊
	天正8年正月書写奥書	
長恨歌並琵琶行秘抄	宣賢筆	1冊
拾芥抄上中下	上 枝賢，國賢，宣賢筆 中 業賢筆 下 國賢筆	3冊
	上卷 天正9年國賢奥書 中卷 永正7年書写奥書	
年中行事	宣賢筆	1冊
	宣賢加點奥書	
新古今注	宣賢筆	1冊
塵芥	宣賢筆	2冊

聚分韻略（先到叡）宣賢筆 1冊

宣賢卿字書 宣賢筆 1冊

1. 兵範記 平信範 自筆本 19卷
古写本 6卷
附新写本 24卷

49卷紙背文書アリ

附 属 図 書 館 和 漢 書 分 類 表

第一門 宗教哲学教育	1—26	仏教各宗派
1—00 宗教哲学教育総記	1—27	印度諸宗教
1—01 宗教総記	1—28	回教及その他の宗教
1—02 神話	1—29	宗教雑記
1—03 神道総記		
1—04 神道史		
伝記 祭祀 縁起	1—40	哲学総記
1—05 神道各論	1—41	西洋哲学 史及伝記
1—06 キリスト教 総記	1—42	西洋哲学全集
1—07 キリスト教史 伝記	1—43	西洋哲学各論
1—08 キリスト教各論	1—44	論理学 認識論
	1—45	心理学
1—20 仏教総記	1—46	倫理学
1—21 仏教史 伝記	1—47	美学
1—22 寺院 縁起	1—48	東洋哲学
1—23 経律	1—49	哲学雑記
1—24 論		
1—25 禅宗 語録	1—50	教育総記

1—51 教育史 伝記
 1—52 学 制
 1—53 職業教育
 1—54 普通教育
 1—55 高等教育
 1—56 特殊教育
 1—57 教授法
 1—58 社会教育
 1—59 教育雜記

 1—60 中国哲学總記
 1—61 群經總記
 1—62 易 經
 1—63 書經詩經
 1—64 礼 記
 1—65 春 秋
 1—66 四 書 孝經
 1—67 老 莊
 1—68 諸 子
 1—69 儒 家

 1—80 日本思想總記
 1—81 日本思想各論
 1—82 心学道話
 1—83 和漢学制
 1—84 教訓及武士道
 1—85 女 訓
 1—86 礼 式

1—87 西洋礼式
 1—88 国 学

第二門 法律政治

2—00 法律總記
 2—01 法令 法規 判例
 2—02 西洋法制史
 2—03 日本法制史
 2—04 東洋法制史
 2—05 法 哲 学
 2—06 民 法
 2—07 商 法
 2—08 刑法及刑事訴訟法
 2—09 民事訴訟法

 2—20 国 法 学
 2—21 憲 法
 2—22 行 政 行政法
 2—23 地方行政
 都市計畫 地方選舉
 2—24 各省行政 司法
 2—25 会 計 法
 2—26 公 務 員
 2—27 国 際 法
 2—28 条約 國際會議
 國際連合
 2—29 外国法 法律雜記

- 2—30 議會總記
- 2—31 国会法，選舉法
- 2—32 議 院 史
- 2—33 兩 院
- 2—34 參 議 院
- 2—35 衆 議 院

- 2—40 政治總記
- 2—41 政 治 論
- 2—42 和漢政書
- 2—43 政 党
- 2—44 政 治 史 伝記
- 2—45 外交 國際問題
- 2—46 詔 勅
- 2—47 アジア問題
- 2—48 政 策 時事問題

第三門 經濟，社会

- 3—00 財政總記
- 3—01 財 政 史 伝記
- 3—02 予算決算
- 3—03 国公有財産
- 3—04 租 税 関税
- 3—05 国 公 債
- 3—06 償 金 借款

- 3—20 經濟總記
- 3—21 經 濟 史

- 3—22 貨 幣
- 3—23 金融 恐慌
- 3—24 企業 經濟
- 3—25 信用組合
- 3—26 保險 貯金
- 3—27 人口 移植民
- 3—28 工業 經濟
- 3—29 經濟政策 雜記

- 3—40 社会科学總記
社会学
- 3—41 社会問題
- 3—42 社会思想
- 3—43 家族制度 婦人問題
- 3—44 勞 働 勞働法
- 3—45 職 業
- 3—46 社会福祉
- 3—47 民俗 風俗
- 3—48 性 問 題
- 3—49 社会政策 雜記

- 3—60 統 計 学
- 3—61 統計表 年鑑
- 3—62 統計雜記
- 3—63 各府県統計

第四門 文学，語学

- 4—00 文学總記

- | | | | |
|------|------------------|------|----------------|
| 4—01 | 漢文学総記
文学史 伝記 | 4—40 | 御伽草子 仮名草子 |
| 4—02 | 選集 (衆人) | 4—41 | 読本 軍談 人情本 |
| 4—03 | 全集 (個人) | 4—42 | 浮世草子 |
| 4—04 | 作文 (漢文) | 4—43 | 黄表紙 滑稽本
洒落本 |
| 4—05 | 漢文集 (個人) | 4—44 | 近代小説
(明治以後) |
| 4—06 | 漢詩学 | 4—45 | 中国戯曲, 小説 |
| 4—07 | 漢詩集 (日本人) | 4—46 | 童話 (和漢洋) |
| 4—08 | 漢詩集 (中国人) | 4—47 | 雑話 (同) |
| 4—09 | 作文 往来文 | 4—48 | 評論 随筆 |
| 4—10 | 修辭学 雄弁法 | 4—49 | 書目 書誌 |
| 4—20 | 日本文学総記
文学史 伝記 | 4—50 | 外国文学史 伝記 |
| 4—21 | 選集 全集 | 4—51 | 外国文学 |
| 4—22 | 歌学 歌話 | 4—52 | 東洋諸国文学 |
| 4—23 | 和歌集 | 4—53 | 英米文学 |
| 4—24 | 連歌 俳諧 | 4—54 | ドイツ文学 |
| 4—25 | 狂歌 川柳 戯文 | 4—55 | フランス文学 |
| 4—26 | 詩 | 4—56 | スペイン文学 |
| 4—27 | 謡曲 狂言 | 4—57 | イタリア文学 |
| 4—28 | 浄瑠璃 | 4—58 | ロシア文学 |
| 4—29 | 俗曲 歌謡 | 4—59 | その他諸国文学 |
| 4—30 | 物語・草紙
日記文学 | 4—60 | 言語学総記 |
| 4—31 | 歌舞伎脚本 | 4—61 | 国語学総記 |
| 4—32 | 戯曲 | 4—62 | 文法 |
| | | 4—63 | 音韻 仮字遣 |

- | | | | |
|------|----------------|------|-----------------|
| 4—64 | 字音及訓読 | 5—08 | 南北朝時代 |
| 4—65 | 文 字 | 5—09 | 室町時代 |
| 4—66 | 方 言 | 5—10 | 安土桃山時代 |
| 4—67 | ローマ字 | 5—11 | 江戸時代 |
| 4—68 | アイヌ語 琉球語 | 5—12 | 近 代 |
| 4—69 | 国語学雜記 | 5—13 | 対 外 史 |
| | | 5—14 | 台 湾 史 |
| 4—80 | 英 語 | 5—15 | 地 方 史 |
| 4—81 | 西洋諸国語 | 5—16 | 史 論 |
| 4—82 | 東洋諸国語 | 5—17 | 儀 式 有職故実 |
| 4—83 | 中 国 語 | 5—18 | 考 古 学 |
| 4—84 | 国語辞書 | 5—19 | 災 害 史 |
| 4—85 | 節 用
故事熟語 名数 | | 維 維新史料 |
| 4—86 | 中国辞書 漢和辞典 | 5—40 | 東洋史總記 |
| 4—87 | 韻 学 説文 | 5—41 | 中国史總記 |
| 4—88 | 音 声 学 | 5—42 | 中国古代史
(古代至秦) |
| 4—89 | 速 記 | 5—43 | 中国上世史
(漢至六朝) |

第五門 歴史、地理

- | | | | |
|------|---------|------|-----------------|
| 5—00 | 歴史地理總記 | 5—44 | 中国中世史
(唐至宋) |
| 5—01 | 歴史總記 | 5—45 | 中国近代史
(元至現代) |
| 5—02 | 世 界 史 | 5—46 | 朝 鮮 史 |
| 5—03 | 日本史總記 | 5—47 | 西洋史總記 |
| 5—04 | 史 料 | 5—48 | 西洋各国史 |
| 5—05 | 古 代 | 5—49 | 歴史雜記 |
| 5—06 | 奈良・平安時代 | | |
| 5—07 | 鎌倉時代 | | |

- | | | | |
|------|----------------|------|----------|
| 5—60 | 伝記総記 | 6—03 | 化 学 |
| 5—61 | 日本人叢伝 | 6—04 | 天 文 学 |
| 5—62 | 日本人個人伝記 | 6—05 | 地 学 |
| 5—63 | 日本人言行録 | 6—06 | 気 象 学 |
| 5—64 | 日本人系譜
姓氏 紋章 | 6—07 | 海 洋 学 航海 |
| 5—65 | 日本人人名録 武鑑 | 6—08 | 科学雑誌 |
| 5—66 | 日本人陵墓 | | |
| 5—67 | 中国人伝記 | 6—20 | 博物学総記 |
| 5—68 | 外国人伝記 | 6—21 | 本 草 学 |
| 5—69 | 伝記雑誌 | 6—22 | 生 物 学 |
| | | 6—23 | 人 類 学 |
| 5—80 | 地理総記 | 6—24 | 動 物 学 |
| 5—81 | 東洋地理 | 6—25 | 植 物 学 |
| 5—82 | 日本地理 | 6—26 | 鉱物学 結晶学 |
| 5—83 | 日本各地誌 | 6—27 | 地質学 古生物学 |
| 5—84 | 日本地図 歴史地図 | 6—28 | 地 震 学 火山 |
| 5—85 | 日本紀行 | 6—29 | 博物学雑誌 |
| 5—86 | 中国地理 | | |
| 5—87 | 中国紀行 | 6—40 | 数学総記 |
| 5—88 | 外国地理 | 6—41 | 和漢算法 |
| 5—89 | 外国紀行 | 6—42 | 算 術 |
| 京 京 | 京都郷土資料 | 6—43 | 代 数 学 |
| | | 6—44 | 幾 何 学 |
| | | 6—45 | 三 角 法 |
| | | 6—46 | 解析学 解析幾何 |
| | | 6—47 | 微分積分学 |
| | | 6—48 | 度 量 衡 |
- 第六門 自然科学
- | | | | |
|------|-------|--|--|
| 6—00 | 科学総記 | | |
| 6—01 | 科 学 史 | | |
| 6—02 | 物 理 学 | | |

6—49 数学雜記

第七門 医 学

7—00 医学總記

7—01 医学史 伝記

7—02 和漢医学 古方

7—03 生理学

7—04 病理学

7—05 解剖学 組織学

7—06 藥理学

7—07 医化学

7—08 細菌学

7—09 衛生学

7—20 臨床医学

7—21 診斷学

7—22 内科学

7—23 外科学

7—24 眼科学

7—25 皮膚科泌尿器科学

7—26 産婦人科学

7—27 小兒科学

7—28 耳鼻咽喉科学

7—29 精神医学

7—30 放射線医学

7—40 獸医学

7—41 齒科医学

7—42 法医学

7—43 藥 学

7—44 看護学

7—45 医学雜記

7—46 理学療法

第八門 工学, 芸術

8—00 工芸總記

8—01 工学總記

8—02 土木工程学

8—03 機械工学

8—04 電氣工学

8—05 採鉱冶金学

8—06 工業化学

8—07 建築学

8—08 製 図

8—09 測 量

8—10 航空工学

8—20 軍事總記

8—21 和漢兵法

8—22 和漢武器 城

8—23 空 軍

8—24 陸 軍

8—25 海 軍

8—26 兵 器

8—27 軍 制

8—28 戰 史

8—29 軍事雜記

8—40 芸術美術総記 同史
 8—41 和漢美術
 8—42 書 画 文房具
 8—43 書
 8—44 絵画 版画
 8—45 彫刻 篆刻
 8—46 漆工 金工
 8—47 染 織
 8—48 陶 磁
 8—49 美術考古

 8—50 金 石
 8—51 古 銭
 8—52 骨 董
 8—53 玩 具
 8—56 手芸 手工
 8—57 写 真
 8—58 印刷 出版
 8—59 工芸雑記

 8—60 音 楽 (東洋)
 8—61 音 楽 (西洋)
 8—62 音楽理論
 8—63 花 香 茶 盆石
 8—64 室内遊戯
 8—65 能 狂言 田楽
 神楽
 8—66 演劇 舞踊
 8—67 寄 席

8—68 映 画
 8—69 興 行 物
 8—70 体育 スポーツ
 8—71 武道 狩猟
 8—72 水上競技
 8—73 陸上競技
 8—74 球 技
 8—75 登山 スキー
 8—76 相 撲

 8—80 方技総記
 8—81 卜 筮
 8—82 陰陽五行
 8—83 骨相手相
 8—84 星 占
 8—85 伝 授
 8—86 道 家 仙術
 8—87 陶 宮 術

第九門 産 業

9—00 産業総記
 9—01 日本産業
 9—02 中国産業
 9—03 外国産業
 9—04 博 覧 会
 9—05 産業組合
 9—06 鉱 業
 9—07 繊維 製紙

9—20 農業総記
 9—21 農政学
 9—22 農業経済
 9—23 農芸化学
 9—24 作物栽培
 9—25 園芸
 9—26 林業
 9—27 畜産業 養禽
 9—28 蚕業
 9—29 水産業 製塩
 9—40 運輸交通総記
 9—41 船舶
 9—42 海運 水運
 9—43 陸運
 9—44 鉄道
 9—45 郵便
 9—46 電信電話
 9—47 放送
 9—48 空運
 9—60 商業総記
 9—61 商業史 商業地理
 9—62 銀行
 9—63 会社
 9—64 取引所 株式市場
 9—65 貿易
 9—66 専売
 9—67 会計簿記

9—68 商工会議所
 9—69 家政

第十門 全書 叢書

10—00 百科全書
 10—01 叢書 (日本)
 10—02 同 (中国)
 10—03 類書 拔萃 (日本)
 10—04 同 (中国)
 10—05 隨筆 (日本)
 10—06 同 (中国)
 10—07 雜誌 (日本)
 10—08 同 (中国)
 10—09 新聞
 10—10 學術総合刊行物
 10—20 図書館総記
 10—21 図書館史
 10—22 図書館管理
 運営 組織
 10—23 図書館建築
 10—24 図書館の整理 保管
 10—25 図書館の運用 参考
 事務
 10—26 読書指導 読書法
 10—27 公共図書館
 10—28 大学図書館 学校
 図書館
 10—29 専門図書館

和漢書目錄用音字表

ヂ	ウ	ジ	キ	ウ	キ
キ		イ	フ	ヤ	ユ
エ		エ	ヨ	ウ	ー
ヲ		オ	ケ	フ	
ク	ウ	カ	シ	フ	キ
ア		ー	シ	フ	ユ
ワ			シ	フ	ー
フ	ウ		シ	フ	
ウ		コ	セ	フ	チ
フ			セ	フ	ー
フ		ソ	チ	フ	
フ			チ	フ	ユ
ウ			チ	フ	ー
フ		ト	テ	フ	
ウ			テ	フ	ニ
フ		ノ	ニ	フ	ユ
ウ			ニ	フ	ー
フ		ホ	ニ	フ	
ウ			ネ	フ	ヒ
フ		モ	ヒ	フ	ー
ウ			ヘ	フ	ミ
ウ		ユ	ミ	フ	ー
フ			メ	フ	リ
ウ		ヨ	リ	フ	ユ
フ			リ	フ	ー
ウ		ロ	レ	フ	
フ				フ	

CLASSIFICATION SCHEME OF KYOTO UNIVERSITY LIBRARY

I Philosophy

- 1-0 General
- 1-1 History
- 1-2 Orient
- 1-3 China
- 1-4 Collected works
- 1-5 Metaphysics
- 1-6 Psychology
- 1-7 Ethics
- 1-8 Aesthetics
- 1-9 Miscellaneous

II Social sciences

- 2-0 General-Sociology
- 2-1 Religion
- 2-2 Orient
- 2-3 Mythology. Folk-lore. Customs
- 2-4 Education
- 2-5 Law
- 2-6 Political science
- 2-7 Economy.
Commerce
- 2-8 Statistics
- 2-9 Miscellaneous

III Philology

- 3-0 General
- 3-1 Comparative
- 3-2 Sanscrit. Pali
- 3-3 Greek. Latin
- 3-4 English
- 3-5 German. Teutonic
languages
- 3-6 French. Romance
languages
- 3-7 Japanese
- 3-8 Chinese
- 3-9 Others

IV Literature

- 4-0 Library science.
Bibliography
- 4-1 Literature-General
- 4-2 English & American literature
- 4-3 German ♪
- 4-4 French ♪
- 4-5 Latin, Greek &
other European ♪
- 4-6 Japanese ♪
- 4-7 Chinese ♪
- 4-8 Indian ♪
- 4-9 Others

V History

- 5-0 General
 - Methodology
- 5-1 Universal history
- 5-2 Maps
- 5-3 Biography
- 5-4 Orient
- 5-5 India
- 5-6 Japan
- 5-7 China
- 5-8 Others
- 5-9 Africa. Oceania

VI European history

- 6-0 Ancient history
- 6-1 Mediaeval //
- 6-2 Modern //
- 6-3 Recent //
- 6-4 Great Britain
- 6-5 France
- 6-6 Germany
- 6-7 Russia
- 6-8 America
- 6-9 Others
- 6-10 Word War I & II

VII Sciences

- 7-0 General
- 7-1 Mathematics
- 7-2 Astronomy.
 - Physiography
- 7-3 Physics
- 7-4 Chemistry
- 7-5 Geology.
 - Palaeontology
- 7-6 Biology. Botany.
 - Zoology
- 7-7 Medicine
- 7-8 Anthropology
- 7-9 Others

VIII Arts & Industries

- 8-0 General
- 8-1 Arts—Fine arts
- 8-2 Music
- 8-3 Theatre. Sports.
 - Amusements
- 8-4 Industries
 - Manufactures
- 8-5 Engineering
- 8-6 Chemical
 - technology
- 8-7 Agriculture
- 8-8 Military
- 8-9 Domestic

IX Geography &
Travels

- 9-0 General
- 9-1 Universal
geography
- 9-2 Europe
- 9-3 Asia—Japan
- 9-4 China
- 9-5 India
- 9-6 Others
- 9-7 Africa
- 9-8 America
- 9-9 Oceania.
Polar regions

X Encyclopaedia &
Periodicals

- 10-0 Encyclopaedia
—English
- 10-1 German
- 10-2 French &
others
- 10-3 Periodicals. News
papers—English
- 10-4 French
- 10-5 German
- 10-6 Others
- 10-7 General series
- 10-8 Dissertation
- 10-9 University
publications
- 10-10 Catalogue
- 10-11 European news-
papers, 1914-18
- 10-12 Institute and
Society publica-
tions

訓令式ローマ字綴表

	清 音							
ア行	a	i	u	e	o			
カ行	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
タ行	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
ナ行	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ハ行	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
マ行	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ヤ行	ya	i	yu	e	yo			
ラ行	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	wa	i	u	e	o			

	濁 音							
ガ行	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
ダ行	da	di	du	de	do			
バ行	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo

	半 濁 音							
パ行	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

	特 殊 音			
ファ	fa	fi	fe	fo
ヴァ	va	vi	ve	vo
ツァ	tza	tzi	tze	tzo
ティ, デイ, ドゥ	ti	di	du	

撥音は凡てnを用う。例 sinbun.

ただし次の母音又は半母音と離して発音する場合は'を挿入する。例 Kan'yaku, San'itu.

促音は子音を重ねる。例 Sapporo.

長音は母音にを冠する。例 Kôbe.

MEMO

京 都 大 学 附 属 図 書 館

京都市左京区吉田本町

電 話 77-8111 (大代表)

(構内電話)

館 長 室	151
事 務 部 長	152
整 理 課 長	40
閱 覧 課 長	41
庶 務 掛	150
会 計 掛	148
受 入 掛	153
目 録 掛	154

閱覧貸付掛	155甲
参 考 掛	155乙
書 庫 掛	156
文献複写室	158
アメリカ研究センター図書室	157
地磁気世界資料室	159
フ ラ フ 室	1189